

第13回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】

◆自治基本条例について

何年か前に制定されたが、内容がなかなか理解できない。制定前と何が変わったか？また、自治会に加入することを条例に盛り込むことはできなかったのか。

⇒【村長コメント】

以前にもやっていたことを条例に盛り込んだだけであり、大きな変化はないと思うが、条例に明文化することで、職員の意識付けをした。また、自治会の加入については、住民の自由意志を尊重しなければならないため、強制はできないが、今後も自治会に加入することの具体的なメリットをPRしていきたい。

◆東海村第5次総合計画について

計画を策定する方に力が入っており、実施が伴っていないところがあるのではないかと。

⇒【村長コメント】

定期的な実施評価をしているが、進んでいないものがあることも事実。原因を追究し、実現に近づけるよう努力していく。

◆船場地区の住宅増加について

船場地区の農地が次々と宅地化されているが、次々と住宅が建つ前に、広い道路や公園等を確保しておく必要があるのではないかと。

⇒【村長コメント】

調整区域のため、規制をかけたくても難しいところがある。住宅が一つずつバラバラに建ってしまうため、気づけば住宅地になっている状況。土地は個人の財産なので、皆さんの理解も必要だが、意識して土地利用のルールを作らなければならないと思っている。

【2】

◆村の介護支援計画について

人材派遣会社（介護の現場で活躍できる人材を育成・派遣）を経営しており、地元である東海村に貢献していきたいと考えているが、村内でそういった人材が活躍できる場はあるか。

⇒【村長コメント】

特別養護老人ホームや在宅・訪問介護の支援事業者などは、民間法人が対応しているので、村内にどのような法人があるのか、「なごみ・総合支援センター」に直接きいてみてほしい。

◆今後の原子力関係の進め方について

他社と協力して、放射能で汚染された廃棄物や土等を減容化（容積を減らす）するためのトラック（小規模プラントを搭載したトラックで、環境省も認定済み）を開発したが、村内で活躍できる場はないか。

⇒【村長コメント】

担当課に伝える。

【3】

◆村の原子力発電について

村の原発の再稼働については、住民投票で決めるべきではないか。

⇒【村長コメント】

ご意見として伺う。

【4】

◆地元野菜の販売について

地元の生産者に協力してもらい、7月から（店舗で）地元野菜の販売をスタートすることになったが、生産者側にまとめ役（調整役）がないため、当日店頭に出す野菜の量を調整することが難しい。

⇒【村長コメント】

担当課に伝える。

◆プレミアム商品券について

プレミアム商品券の取り扱いについて、商工会から説明会の案内が届いていなかった。また、商品券代金の振り込み先が、地元の金融機関のみとなっているが、他の金融機関も入れてもらえないか。

⇒【村長コメント】

担当課に伝える。

◆「東海村おすすめセレクション」について

先日発表された「東海村おすすめセレクション」について、大型店舗でも何か協力できることはないか。店頭でコーナーを設けてPRすることもできる。

⇒【村長コメント】

セレクションの商品は量産が難しいため、大型店舗で販売するまでには時間がかかるかもしれないが、店内でPRしてもらえればありがたい。担当課と調整してもらいたい。